

令和5年度 仙台市宮城野障害者福祉センター防災訓練を実施しました。

令和5年12月13日
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和5年12月1日（金）10時30分、厨房から出火し、火災発生を想定した防災訓練を実施しました。当日は自立訓練事業利用者、生活介護事業利用者、貸館利用者他、センター職員を含め、計39名が参加しました。併せて宮城野消防署の方、防災設備機器管理会社の方にも参加いただき、避難誘導時の注意点や消火器の使用手順等を確認しました。

今回は、避難誘導時にフラッシュライトと音声ガイドを併用し設備の位置や使用方法を職員、利用者共に確認することができました。

避難訓練終了後には、宮城野消防署の方より第一発見者は大きな声で知らせること、日頃から設備の使用方法を知っておくこと、避難時は扉を閉めて煙の蔓延を防ぐことの3点を指導いただきました。

防災設備機器管理会社の方からは、館内の防災設備について説明を受けると共に水消火器を使用した初期消火体験も併せて行い、職員の防災知識を更に高めることが出来たと思います。

参加者からは、「利用者、貸館利用者が一緒に訓練出来たことがとても良かった」「消防の方や防災設備会社の方の説明がとても分かりやすく勉強になった」等の感想が聞かれました。また、自力避難が困難な方の避難誘導について宮城野消防署の方から助言をいただきました。

今回の訓練を通じて、宮城野障害者福祉センターを利用される全ての方々が、障害の有無に関わらず、より落ち着いて避難ができるよう、細かな情報提供や誘導方法などの検討を重ねる重要性を感じました。今後も場面や時間帯などを変えながら、より実践的で多様性のある訓練を実施していきたいと思えます。



